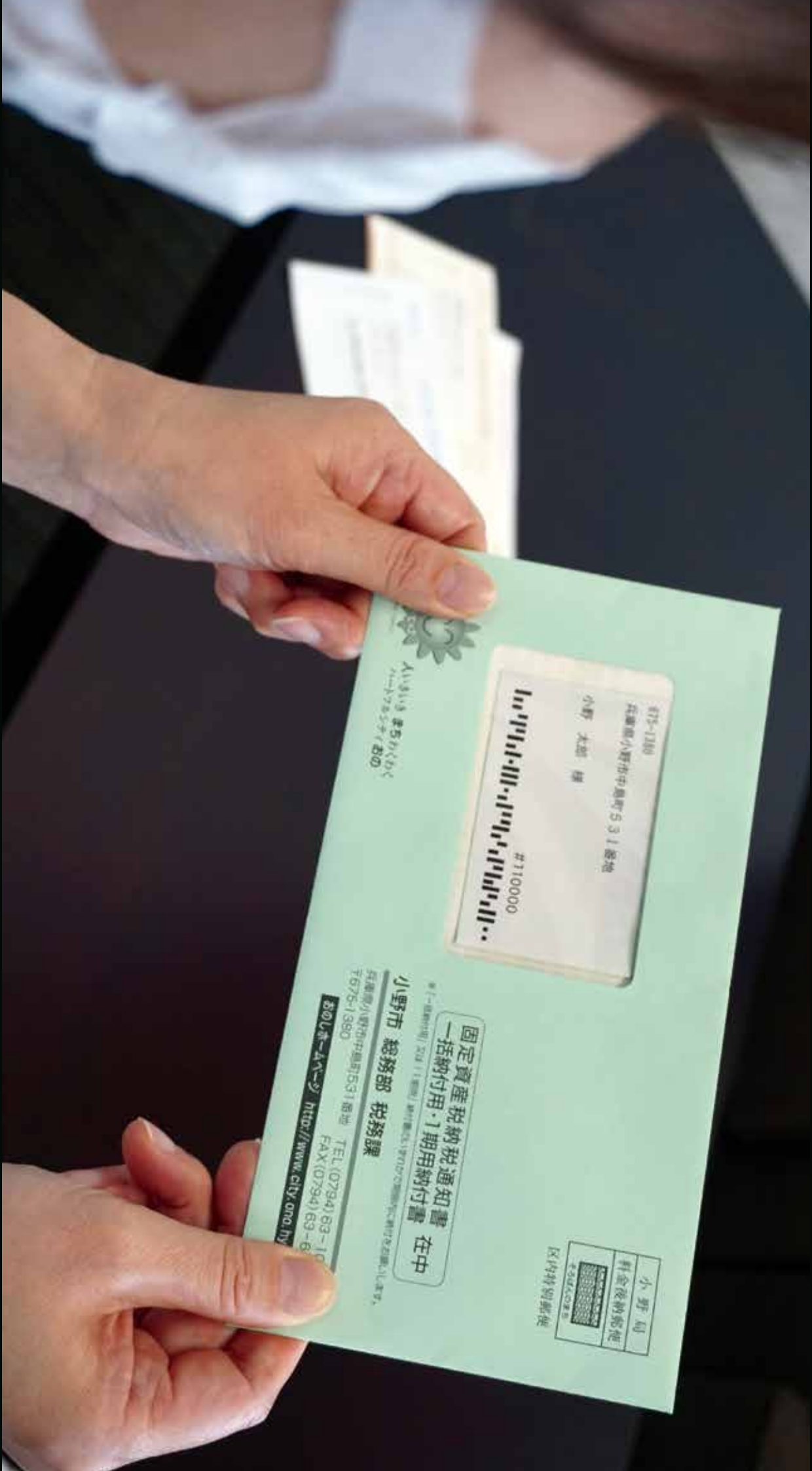


小野市議会だより

2022.8
No.203

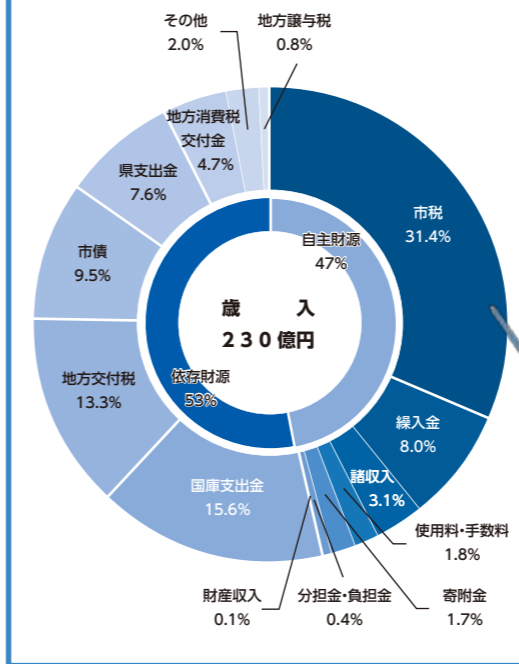


ご存知ですか？ 税のその後…

ご存知ですか？ 税のその後..

納税は国民の義務として憲法に定められており、小野市でも5月には軽自動車税、6月には住民税、国民健康保険税、固定資産税の納税について通知されました。そのほかにも消費税や所得税など、私たちは様々な税を納めています。私たちが納めている税は、その後どのようなになっているのでしょうか。

【令和4年度歳入予算内訳】



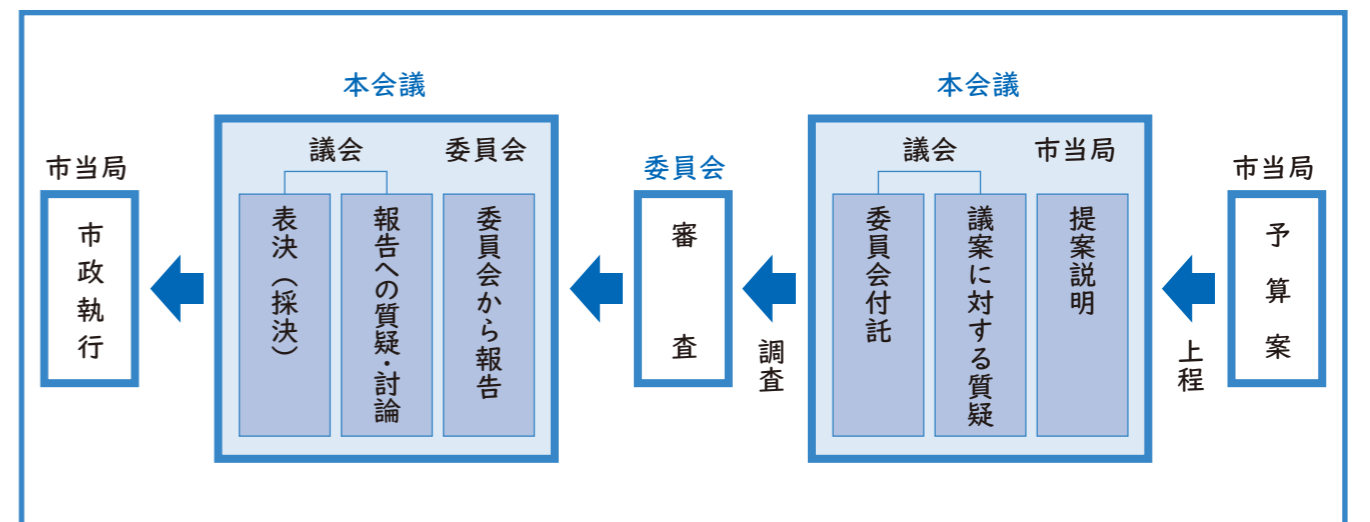
税は主な財源の1つ

歳入予算内訳を見ると、市の歳入の約3割が市税によるものです。3割と聞くとそれほど多くないようにも思えますが、国や県から入る交付金なども私たちが国や県に納めている税が財源となっていると考え、財源の約7割が税によるものと言えます。



税の使い道は議会で決める

税の使い道は、予算案という形で市当局側から「議案」として議会に提出、上程されます。まずは本会議で、提案者から議案についての説明を受け、不明な点があれば質疑を行い、より深く専門的に審査するため所管の委員会に審査を付託します。そして、委員会までの間に各会派や個人で予算案について詳しく調査し、委員会での質疑応答や討論を経て、可否を決定します。その後、委員会の結論や本会議での討論を踏まえ、表決をとり、議会の最終的な意思決定を行います。ここで初めて税金の使い道が決まります。



※委員会については、14ページもご参照ください。

さまざまな施策として還元

納められた税は、さまざまな事業・施策として私たちの生活に還元されています。

- ★全国に先駆けて高校3年生までの医療費完全無料化をはじめとする子育て支援策
- ★公共交通施策としてだけでなく福祉施策も兼ねたらん♡らんバス等の充実
- ★兵庫県内で初！全国的にも先進事例となる学校への空調設備設置
- ★コロナ禍の迅速な市民支援施策として水道料金一年間無料化



公金支出の仕組みを再確認

先般大きなニュースになりました、行政による公金誤送金の事例を受け、議員協議会の場で改めて公金支出の仕組みを確認しました。

★小野市においては...

- ・ 支出伝票は1件ごとに審査
- ・ 支出伝票件数の集計と財務会計システムの一致
- ・ 支出伝票と振込データ等の一致
- ・ 財務会計システムと小切手振出簿の一致
- ・ 小切手振出簿と小切手の一致
- ・ 指定金融機関による確認

全て確認できて、初めて公金支出!!
(全て複数人員でチェック!!)



△市長の支出命令でも会計管理者の審査が通らなければ公金支出されない



★他自治体における誤送金の事例検証

税として徴収される公金は、さまざまな施策に運用され、投資され、住民福祉の向上を築き、同時に社会生活を活発化させます。その繰り返しが持続可能な小野市を創造し、それらを常に監視しているのが私たち市議会です。

また、私たち市議会は、現場を確認することだけでなく、組織としての仕組み・システムが確立され機能しているか、すなわち管理体制を監視することも重要な役割です。

今回の他自治体における公金の誤送金。それは人的ミスが問題ではなく、公金管理の仕組みを改めるべきものです。小野市においてそのような問題が起これば、監視役である私たち議会にも責任があると考えます。

第437回 6月 定例会

会議期間32日間
(5月27日～6月27日)

市長提出議案…7件(補正予算3件・契約2件・その他2件)

審議議案の中から PICK UP!!

一般会計補正予算第1号(議案第31号) | 低所得の子育て世帯に特別給付金を支給

新型コロナウイルス感染症による影響の長期化と物価高騰への対応策として、低所得の子育て世帯に対し給付金を支給。

★支給対象者

- ① 児童扶養手当の支給を受けている方
- ② 住民税非課税のふたり親世帯の方
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変した方
- ④ 公的年金等を受けていることにより児童扶養手当の支給を受けていない方(所得が児童扶養手当の支給制限の限度額を下回る方に限る)

★支給金額 子ども1人あたり 一律5万円

★支給時期 令和4年6月17日から

※詳細は、子育て支援課へお問い合わせください。(電話63-11645)

一般会計補正予算第3号(議案第33号) | おの恋プレミアム商品券を販売

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者や物価高騰の影響を受ける市民の生活を支援するため、プレミアム率30%の「おの恋プレミアム商品券」を販売。(※事前申込は7月29日に終了しました)

商品券の使用期間は、令和4年9月1日(木)から令和5年2月28日(火)まで。



コメ農家への支援金を交付

燃料費高騰等に伴う生産コスト上昇の影響を受けるコメ農家を支援するため、支援金を交付。

- ★交付対象者 ヒノヒカリ等の主食用米及び山田錦等の酒造好適米の生産者
- ★交付額 令和4年度産主食用米及び酒造好適米の生産者に、10アールあたり3,000円を交付。
- ★交付時期 令和4年9月から



学校給食費の負担を軽減

食材費高騰による学校給食費への価格転嫁を避け、学校給食の品質維持を図るために、学校給食会計に補助金を交付。



提出議案と審議結果



★全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第31号	令和4年度小野市一般会計補正予算(第1号)
	第32号	令和4年度小野市一般会計補正予算(第2号)
	第33号	令和4年度小野市一般会計補正予算(第3号)
契約	第34号	新都市南北線北工区道路新設工事請負契約について
	第35号	総合体育館空調設備等改修工事請負契約について
その他	第36号	土地の取得について
	第37号	小野市名誉市民の決定について

(議案第37号) 長年の感謝をこめて

小野市出身の歌人、上田三四二氏の功績を称え、全国から短歌を募集し優れた作品を表彰する「小野市短歌フォーラム」において、平成14年以降20年の長きにわたり選者として務めていただいた馬場あき子氏を「小野市名誉市民」に決定する議案に同意しました。

馬場氏は、「小野市詩歌文学賞」の創設にもご尽力くださり、同賞の選考委員として本市の文化の継承および向上に多大なる貢献をいただきました。市民の心の豊かさを育み、文化の薫り高いまちづくりを進める礎を築いていただいたことに市議会としても心より感謝申し上げます。



市長から花束を受け取られる馬場あき子氏

ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
9人の議員が
一般質問を行いました。
(一般質問は発言した議員が編集しました)



- 一般質問とは……
市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。
- 質問テーマは？
1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。
- 質問の制限時間は？
1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



村本洋子議員（公明党）



産前産後ケアに家事・育児支援を

答弁 現状の支援体制を充実していく

幼児教育について

質問 幼児教育を市教育委員会に一元化することについて

答弁 支援が必要だと判断した家庭へ調理や掃除等の援助を無料で提供する「養育支援家庭訪問ホームヘルプサービス事業」と「アウトリーチ型」産後ケア事業がある。また、訪問支援を補完する社会福祉協議会の「おの育児ファミリーサポートセンター」が、子の預かりや保育施設への送迎支援を行っている。今後、現状の支援体制を充実していく。

(市当局)

質問 0歳児見守り訪問について

答弁 地域特性に合わせた手法により、節目月齢での全児童の状況把握と要支援家庭へ継続的支援を行うとともに、民生児童委員など地域の方々に協力いただいで、0歳児への支援体制を構築している。今後、充実させていきたい。

(市当局)

質問 幼稚園の3歳児クラスについて

答弁 現在2園ある幼稚園を1園として、「新たな幼稚園」を構築すべく準備を進めている。脳科学の知見による幼児期における親子の愛着形成の重要性に鑑み、家庭教育との十分な連携を踏まえた3歳児の幼稚園教育を実施する方向で準備を進めている。

(市当局)

質問 桜づつみや、ひまわりの丘公園では、来場者の車両でかなりの渋滞が発生している。近隣住民及び救急車両への影響も考えられることから、早急に対処する必要がある。駅からの自転車の貸し出しや、公共交通の利用によるインセンティブの導入、シャトルバスの運行など対策は、市内貸自転車整備や、公共交通の利用によるインセンティブは、初期投資や費用対効果において課題が多く、研究が必要である。市役所起点のシャトルバス運行については、実現できる可能性があり、来年に向けて、様々な方法の研究を続ける。なお、ひまわりの丘公園には、新たに駐車場を整備する。

(市当局)

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

松永美由紀議員（市民クラブ）



水道管等の更新状況について

答弁 耐用年数と更新状況を踏まえ順次更新していく

質問 小野市の水道事業について、昭和38年から各家庭に配水していることから老朽化が懸念されるが、水道管の更新状況について問う。

答弁 水道管の耐用年数が約40年から50年であることから、導水管、送水管、配水管などについては、国の補助金を活用して、布設年度の古いものから計画的に耐震管に更新している。

(市当局)

質問 小野市では、加古川や東条川などの規模の大きな河川をまたぐ水管橋はなく、道路橋に水道管を取り付けており、老朽化の懸念があるが、どのような対応をとっているのか問う。

答弁 水道部が管理しているのは独立水道専用橋1橋、添架水道橋60橋の計61橋である。今後、耐用年数が

40年を超える水道橋が増加することから、様々な手法により点検、維持管理及び更新に努めていく。

(市当局)

質問 この地域においても、地震が起る可能性が高くなっているが、各水道施設の耐震化の状況について問う。

答弁 水道部が保有する水道施設は、浄水場が3施設、配水池が15施設である。浄水場については、現在、整備をしている河合浄水場の完成により、耐震化率は100%になる。配水池については、約53%の施設が耐震性能を持っている。未耐震化施設については、順次耐震化を計画している。

(市当局)

河島三奈議員（市民クラブ）



花の季節、道路の渋滞緩和を!

答弁 来年に向け、様々な方法を検討する

質問 SNSを利用した観光PRの成果と課題、今後の取り組みについて問う。

答弁 インフルエンサーを活用し、約160万人に観光情報を発信した結果、今年、おの桜づつみ回廊の来場者は、過去最高の11万人になり、情報発信の効果があつたと考える。課題は、発信した情報に興味を持たせ、具体的な行動につなげる工夫だと考える。今後は、多くの方々が利用されている「LINE」に、観光協会のアカウントを新たに立ち上げる予定である。

(市当局)

質問 桜づつみや、ひまわりの丘公園では、来場者の車両でかなりの渋滞が発生している。近隣住民及び救急車両への影響も考えられることから、早急に対処する必要がある。駅からの自転車の貸し出しや、公共交通の利用によるインセンティブの導入、シャトルバスの運行など対策は、市内貸自転車整備や、公共交通の利用によるインセンティブは、初期投資や費用対効果において課題が多く、研究が必要である。市役所起点のシャトルバス運行については、実現できる可能性があり、来年に向けて、様々な方法の研究を続ける。なお、ひまわりの丘公園には、新たに駐車場を整備する。

(市当局)



桜づつみ回廊

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

河島信行議員（無党派）



空き家解体費用補助事業制度の創設は

答弁 個人への補助事業制度の創設は考えていない

答弁 人口減少、少子高齢化や若者の都市部への流出等で、小野市でも空き家の増加が社会問題化している。空き家が解体されない理由は、高額な解体費用や、解体後に宅地を放置した場合に固定資産税の軽減措置が適用されないこと等が、解体が進まない原因と考えている。

（市当局）

児童・生徒の通学の安全対策について

（市当局）

質問 「登校時の交通指導員制度」創設の考えについて問う。

答弁 児童・生徒は、地域で見守る。との理念に基づき、保護者や自治会、老人クラブ等で構成される総勢2,100名の「スクールガード」をはじめ、交通安全協会、地域づくり協議会、教員、議員等、多くの方々の善意により安全・安心な登校を支え

ていただいている。市の青パト隊も、連日通学路の見守りや、点検活動を実施しており、「登校時の交通指導員制度」創設の考えはない。

（市当局）

地元の飲食店への支援について

質問 公共のスポーツ施設がある公園や、ひまわりの丘公園等での飲食店出店の支援について問う。

答弁 公共のスポーツ施設は、少年野球等で休日は賑わっているが、近くに弁当を販売する店舗があり、弁当販売コーナーを設置する考えはない。

（市当局）

質問 市庁舎1階の弁当売り場の充実について問う。

答弁 現在7店舗が出店しており、現状の店舗で実施していく。

（市当局）

高坂純子議員（無党派）



文化芸術の発展には場所づくりが必要！

答弁 その必要性は認める！！

質問 図書館東側市街地開発が計画中だが、市民が芸術に親しむことができる美術館を作っているか。

答弁 小野市には美術館がない。皆の生きがいづくりの拠点整備が必要である。どういう施設を整備するのが望ましいのか検討したい。（市長）



市役所1階「市民ギャラリー」

小野市緊急通報事業のその後について

質問 契約業者の変更で機能強化の状況は。

答弁 24時間365日体制で緊急通報を受け、ご自宅へ急行する「業者駆けつけサービス」が新たに可能となる。提案いただいた機器を使っているPRの方法として、民生児童委員連絡会等で制度説明及び機器を使ったデモを行い、必要な方がこの事業を活用できるよう周知する。

（市当局）

平田真実議員（無党派）



子どもの権利や人権を守るには

答弁 自主性を尊重する一方、リーダーシップをもって指導

質問 学校では様々な校則やルールのもと、指導が行われている。現在中学校では、ジエンドーフリーにも対応できるような制服変更を検討しておられるが、小学校の標準服や体操等についてはどうあるべきと考えるか。また、髪型や下着の色指定等の校則や、コロナ禍の一律的なマスク着用など、合理的な理由が説明できないルールのもと、指導が行われている面もある。学校において、子どもたちの権利や人権をどのように守っていくべきか。

ってきた声は、充分学校で検討すべきである。コロナ禍のマスク着用については、熱中症対策を優先するよう教育委員会としての考えを明確にしている。迷った場合はマスクを外すということを強いリーダーシップをもって指導している。（教育長）



自立した児童生徒を育む

その他の質問事項

健康増進課における保健師の業務について

藤原 章議員（日本共産党）



歴史と文化の香る小野市を

答弁 文化財保存活用計画で地域の見直しを進める

質問 文化財保存活用地域計画策定で文化財調査中だが現在の状況は。

答弁 お堂88か所を調査。国レベルの指定文化財は発見されなかったが、弘法大師信仰の浸透など新たな発見もあった。（市当局）

物価高騰・生活弱者支援を

質問 コロナ禍に加え、物価が高騰している。生活弱者に対する更なる支援をどう考えているのか。

答弁 「子育て世帯臨時特別給付金」は所得制限を撤廃して給付し、「生活困窮者臨時特別給付金」は今年度の住民税非課税世帯に早く給付する。更なる支援は国の動向や必要性を見て検討する。（市当局）

道路の安全対策について

質問 万勝寺町の四つ堂交差点付近の道路改修の進捗状況を問う。

答弁 今年度、用地買収や物件補償を実施する。竣工は未定だが早期完成を目指す。（市当局）

質問 大開町から小野工業団地に通じる道路の山田町へ向かう三差路は、右折時に危ない。また、産業団地が本格操業すれば一層危険なので改良するべきではないか。

答弁 道路の構造基準は満たしている。産業団地が本格操業して交通量が大きく変化し、安全対策が必要になれば検討する。（市当局）

質問 小野東小学校南側の道路を拡幅・整備しないのか。

答弁 この道路は、交通安全対策の重点地域として歩行者を最優先に考えた対策をしている。道路を拡幅すれば、通行車両の増加や運転速度が上がる恐れがあり、かえって児童の危険性が高まると考える。（市当局）

久後 淳司 議員（無党派）



QRコード



障がい福祉の報酬に独自加算を

背景・実態を調査した上で検討する

質問 日中一時支援事業は小野市独自の事業であり、事業所における人材確保やレスパイト事業への更なる支援として、また、これからニーズが高まる可能性も考えられることから、報酬単位の加算について今後検討することができないか。

答弁 日中一時支援事業の報酬単位については、準則等に基づき近隣市と同程度となっている。何らかの報酬への加算については、現時点で市への要望はないが、背景や実態・ニーズを調査し、独自に加算することでサービスの質が向上するなら前向きに検討する。
（市長）

有機農業への取組について

質問 交付金の活用有無に関わらず、小野市として有機農業について、実施主体として動かれる各種団



持続可能な農業が大切

質問 日中一時支援事業は小野市独自の事業であり、事業所における人材確保やレスパイト事業への更なる支援として、また、これからニーズが高まる可能性も考えられることから、報酬単位の加算について今後検討することができないか。

答弁 今の農業の状況は後継者不足の問題が深刻であり、小野市の農家の現状から有機農業でどこまで生産出来るのか不安がある。また、消費者の意識を変えていくことも重要であり、課題も多く現時点では慎重に進めていくべきだと考えている。ただ研究は進めていき、団体からの声があれば意見交換等行っていく。
（市当局）

藤原 貴希 議員（無党派）



QRコード



要支援者と避難所の事前調整を！

個別避難計画策定と合わせ避難先を決めていく

質問 個別避難計画の策定に合わせ、要支援者が直接避難できる福祉避難所を決めておく必要があると考えるが当局の考えは。

答弁 個別避難計画策定と合わせ避難先を決めているが、現時点で指定福祉避難所が避難先となっている要支援者はいない。今後、要支援者の状況を見極め、指定福祉避難所を決めていく必要がある。また、指定福祉避難所を増やしていくことも検討する。ただ、小野の地域特性を考えると指定福祉避難所に避難する人は少ないと考えている。
（市当局）



平成30年7月豪雨での水防活動（大門橋）

クを考えると抜き打ち訓練ではなく通常訓練が有益であると考える。
（市当局）

脳科学理論に基づく教育の成果は

質問 17年間のデータを分析し根拠を構築する考えはないか。

答弁 当初は教職員への意識統一に時間をかけており、また、ここ数年スマホの普及により、利用時間の問題が起こるなど、まだ分析できる有効なデータが揃っていないため、根拠の構築は無理である。
（教育長）

(議案第33号)

令和4年度小野市一般会計補正予算(第3号)について 質疑

山本 悟朗 議員（無党派）



QRコード



今後のコロナ対策事業は

変化に対応し、迅速に的確な施策を実施する

質問 おの恋プレミアム商品券事業について伺う。

答弁 プレミアム率30%（1万3千円分）の商品券を小野市に住民票がある方を対象に、一冊1万円4万冊発行する。

購入者の希望総数が、4万冊を超える場合には抽選を行い、希望される市民全員に行き渡るようにする。詳細は7月の「広報おの」でご案内している。
（市当局）



質問 今回の補正予算は、国が交付する「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を主な財源としている。コロナ禍の状況は日々変化しており、小野市議会ではこの2年半、過去に例を見ない程の臨時会を開催し、当局と連携を図りコロナ対策を行ってきた。改めてコロナ対策について伺う。

答弁 小野市では、他市に先駆けて「二年間の水道料金の無料化」、地域循環型商品券「おの恋らっきやらっきや券」などの事業をはじめ、都度、必要な事業者支援、生活者支援を実施してきた。

現在は、物価高騰などの問題も顕在化しており、状況の変化に柔軟に対応し、更なるコロナ対策、必要な事業の実施を、国・県の動向を見ながら迅速・的確に進めていく。
（市長）

議会と市民との懇話会

一般質問をする日の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問や市政全般について質問することができ、市当局や議員がその場で答える懇話会を実施しています。

傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非とも議場にお越しください。



懇話会での意見

- 産前産後のケアについて
- 植栽帯への水やりに係る水道の引き込みについて
- 新浄水場整備に伴う影響について
- 議員の一般質問に係る再質問について
- 危険木伐採補助について

など

常任委員会審査報告

6月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》

6月21日開催
付託議案数：3件（議案第31号～33号）
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容
議案第33号 令和4年度小野市一般会計補正予算（第3号）について
・学校給食費負担軽減事業について、食材費の高騰分を補助するが給食費は下がらないため効果が分かりづらい。値上りを抑えているということについて、保護者へのPRが必要ではないかという意見が出た。



学校給食

《総務文教常任委員会》

6月21日開催
付託議案数：1件（議案第35号）
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容
議案第35号 総合体育館空調設備等改修工事請負契約について
・工事期間における総合体育館の使用については、市民に十分周知し、トラブルのないよう努めることを確認した。



総合体育館 アルゴ

《民生地域常任委員会》

6月21日開催
付託議案数：2件（議案第34号・36号）
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容
議案第34号 新都市南北線北工区道路新設工事請負契約について
・隣接する焼山配水池への影響はないこと、また、周辺住民への十分な周知、予想される交通量増加に関して警察と十分に協議を行っていることを確認した。



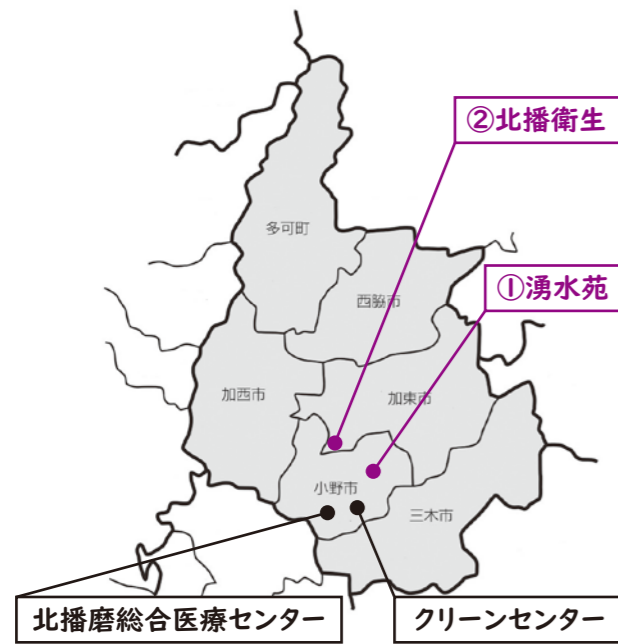
工事区間図

全国市議会議長会表彰

第98回全国市議会議長会総会において、在職10年の河島信行議員と在職15年の岡嶋正昭議長が全国市議会議長会会長表彰を受けました。



岡嶋正昭議長 河島信行議員



②北播衛生

①湧水苑

北播磨総合医療センター

クリーンセンター

知ってください！
一部事務組合
No.1

市町村は、少子高齢化や情報化の進展など、多様化・高度化する行政課題への対応に迫られています。事業によっては広域的に連携することによって、効率的でさらに質の良い事務処理が可能となります。
広域連携の中でも一部事務組合は、複数の地方公共団体が行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織で、小野市は北播磨圏域の4つの組合に加入しており、議員が各事務組合の議員を務めています。
今回は、4つの事務組合の中でも、**小野加東広域事務組合と北播衛生事務組合**について紹介します。

①小野加東広域事務組合

組合構成市 小野市・加東市

業務内容
・斎場 湧水苑 の運営管理
→ペットの火葬も受け付けています
・王子ヶ丘墓苑 の運営管理
→小野市福住町、276区画



湧水苑 待合ロビー

現 状 平成30年度より4年計画となっていた老朽化に伴う空調設備改修が令和3年度で終了し、今年度は大きな改修工事の予定はありません。根幹設備である火葬炉の耐火材修繕を実施しながら耐用年数50年を維持していく予定です。
また、利用者に安心して施設利用してもらえるよう適切な施設維持管理を行い、清潔な環境を保持しながら信頼される施設となるよう管理運営を行います。



斎場 湧水苑（小野市万勝寺町）

【小野市の組協議員】
松永美由紀 議員（議長）
藤原貴希 議員
喜始真吾 議員

②北播衛生事務組合

組合構成市 小野市・西脇市・加東市

業務内容
・し尿や浄化槽汚泥の処理、放流
・スポーツ公園 の管理
→サッカー場を併設しています



スポーツ公園

現 状 令和3年12月よりし尿や汚泥を水で希釈して下水道に放流しており、それまでの焼却処理は休止しています。現在のところ希釈のための水量は確保されており、搬入量のすべてを下水道放流できています。この下水道放流により、15年間で10億円のコスト削減を目標としています。



北播衛生（加東市西古瀬）

【小野市の組協議員】
藤原貴希 議員（監査）
松永美由紀 議員
喜始真吾 議員



小野市では、現在 **3つの常任委員会**を設置しています。
各常任委員会の詳細は以下のとおりです。

【総務文教常任委員会】



令和3年7月最終処分場に係る調査

《下記の部局の所管事務について審査、調査を行う》
秘書課 総合政策部 総務部 市民安全部 消防本部
会計課 選挙管理委員会 教育委員会 など

★活動の予定★

- 8月2日～4日に視察研修を予定しています！
 - 【1日目】校内フリースクールについて 於：岡崎市
 - 【2日目】総合型地域スポーツクラブについて 於：半田市
 - 【3日目】バイオエネルギーセンターについて 於：町田市
- ◎詳細は、次号の議会だよりで報告します。

【民生地域常任委員会】



令和3年7月水道事業に係る調査

《下記の部局の所管事務について審査、調査を行う》
市民福祉部 地域振興部 水道部 農業委員会

★活動の予定★

- 8月8日～10日に視察研修を予定しています！
 - 【1日目】妊娠・出産・子育てトータルケアについて 於：東京都中野区
 - 【2日目】アクティブシニアについて 於：金沢市
 - 【3日目】若者が住みたくなるまちの創造について 於：鯖江市
- ◎詳細は、次号の議会だよりで報告します。

【予算決算常任委員会】

★令和2年3月議会から新たに始動★

これまでは？

当初予算や決算⇒特別委員会、決算研修会などで審査
補正予算⇒各常任委員会に分割付託し審査

なぜ新たに？

- 恒常的に審査を行うものについては、特定の議題に期間限定で設置する特別委員会の趣旨に合致しない。
- 行政実例では、予算は不可分であって、複数の委員会で分割審査すべきではないとされている。



議会での委員長報告

常設の委員会として予算・決算に関する議案を審査、調査

Q. 常任委員会って何ですか？

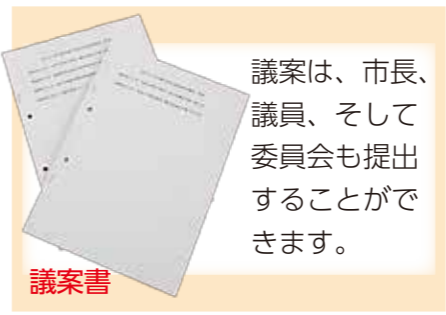


A. 常任委員会は、条例に基づき常時設置している議会の機関です。**本会議に提出された議案などを詳しく審査、調査**します。

また議会の閉会中には、所管事務についての調査研究のため視察や研修を行い、政策提言に繋がられるよう取り組んでいます。詳細については、以下のとおりです。



討論・表決



議案は、市長、議員、そして委員会も提出することができます。



委員会付託

常任委員会審査 (総務文教・民生地域・予算決算)

委員会ではそれぞれ担当に分かれ、議案の内容について市当局から詳しく説明を聞き、質問を行います。本会議でも議案説明があり、質疑を行うことができますが、委員会ではより細かな視点で質疑応答が行われます。本会議で質疑の通告がないこともありますが、委員会での質疑を通してより深く審査し、賛成か反対かの最終的な判断を行い、委員会としての意思を決定します。

委員会も原則として公開していますので、市民の皆さまもぜひ傍聴にお越しください。



予算決算常任委員会の様子

議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

☆ 9月定例会日程 ☆

- 8月30日(火) 午前10時～
本会議(第1日) 議案説明
- 9月13日(火) 午前10時～
本会議(第2日) 一般質問実施
- 9月14日(水) 午前10時～
本会議(第3日) 一般質問実施
- 9月30日(金) 午後1時30分～
本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★9月定例会で一般質問する項目・内容については、9月上旬に市議会ホームページに掲載します。



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。
市役所6階 議会事務局までお越しください。

議会と市民との懇話会

一般質問が行われる日の本会議休憩中に、傍聴者からご意見をいただく機会を設けます。展開される議論にご注目ください。一般質問は9月13日(火)、14日(水)に行われます。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。
希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる9月13日(火)、14日(水)は、「託児コーナー」を開設します。
傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。
9月5日(月)までに議会事務局にお申し込みください。
(費用負担はありません)



傍聴に行けなくても YouTubeで会議中継



マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



議会傍聴者数

6月定例会63名
(令和4年度累計63名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108
E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

あとがき

新たな市議会報編集委員での議会だより編集が、今号から本格的に始まりました。

今回の特集では、市民の皆さまが一番気にかかる「税」のその後について取り上げています。「税」は市の財源として、市当局が組まれた予算案を議員が質疑・討論を経て可決したのち、さまざま施策というかたちで執行されます。

議案の議決は私たち議員の重要な役割です。今後も市民の代表として皆さまの声を市政に反映するべく、責務を果たしていく所存です。

コロナ禍の中、マスク生活に慣れてしまった日常です。コロナとの闘いは今後も続きますが、1日も早く平常な生活が戻ることを願っております。

(市議会報編集委員)

小林千津子

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。